

生困シェア会議開催状況

支援検討会議

個別検討が必要なケースについて、座長が適当と認める実務者・責任者等の機関を加えて課題に対する支援方法等を決定する

- ・本人同意を得るためのアプローチ方法の検討
- ・支援方針・役割分担の協議・検討
- ・「総合的な支援調整の場」としての各関係機関が連携し、横断的に支援体制を構築

8月7日開催

課題

社会的孤立、将来的な生活困窮
(10代の孫と60代の祖母の事例)

方針

短期目標：本人及び家族との信頼関係を構築し現時点で活用可能な福祉サービスの開始。

長期目標：福祉サービス利用可能年齢到達時までの支援継続

進捗状況確認：令和2年11月

支援機関

大正区役所保健福祉課（障がい福祉）
インコス大正
こもれび（子ども自立支援アシスト）

支援実務者会議 開催時期未定（令和2年度3回実施予定）

- ・個別検討ケースの情報共有を行い、支援会議に報告するための個々の地域課題の抽出
- ・新たな「気になる事案」の早期発見と関係機関との連携強化

（参考）

生活困窮者自立支援事業の状況及び課題（令和2年4～6月 相談件数206件）

経済的困窮が9割強

就職活動困難が2割

その他メンタルヘルスの課題が1割強

3割強の世帯が複数の課題を抱えている

※経済的困窮 192件の内9割が住居確保給付金の相談

（コロナ禍による一時的な収入減少…現時点では短期課題）

就職活動困難 42件の内コロナ禍に関わる相談は少数（2件）